

2-2-2

住居地域、4車線幹線道路、老朽化したRCボックスカルバートの更新

現況 B1.8×H1.8 土被り1.2m

更新後 B2.5×H2.0、プレキャスト製品

業務責任担当者

開削工法、車線規制は夜間のみ可

ボックスカルバートは農業用排水、雨水排水を兼ねる

留意事項

周辺条件：住居地域、農地あり

工事条件：4車線幹線道路の埋設物、開削工法、車線規制は夜間のみ可（夜間工事が主、土留めと路面覆工が必要）

構造物条件：RC構造物の取壊しとPca製品の据付（吊込）

利用条件：農業用排水路（かんがい用、かんがい期を避ける）、雨水排水（雨期の施工は不可）

立場

発注者（請負者）の責任担当者

1. 調査検討すべき事項とその内容

- (ア) 周辺環境調査：土地（農地）利用状況、耕作時期、集水区域と雨水流出量、幹線道路交通量と種類、周辺施設の種類と規模、着手前の音・振動の有無
- (イ) 現地状況調査：現地地形、地質、地盤状態、地下水等の状況
- (ウ) 占有物（上空、地中）調査：管理者、種類、形状、大きさ、高さ、深さなど
- (エ) 電力、水などの確保方法：電力、水、その他の入手確保手段の確認
- (オ) ヤードの確保：施工ヤード、仮設ヤード等の確保の可否（場所と規模、所有者）
- (カ) 資機材類搬入出経路の調査：原材料、資材、機械などの搬入出経路

2. 業務を進める手順（留意すべき点、工夫すべき点を含む）

- (ア) 工程計画立案：かんがい期と出水期を避ける必要がある。仮設資材（土留め、覆工）の確保に必要な日数を考慮する。夜間作業となるため無理な工程を避ける。既設構造物の取壊しにブレーカ類を使用できない場合は、その対策も見込んだ工程計画とする。
- (イ) 施工手順の立案：夜間の限られた時間帯で効率よく作業が可能な手順とする。
- (ウ) 配置計画策定：人員、機械、仮設資機材の配置計画を策定する。夜間作業時の監視員、交通誘導員、安全施設の配置には特に留意する。
- (エ) 搬入出計画策定：交通量や周辺施設の状況に応じた搬入出経路を選定し、作業時間帯に制約があるためそれを踏まえた計画とする。
- (オ) 安全管理計画策定：夜間作業が主となることを十分踏まえた、作業員／第三者への安全管理計画を策定する。
- (カ) 品質管理計画策定：Pca部材を緊張材により結合する場合は、緊張力の確認に留意した、品質管理計画を策定する。
- (キ) 環境保全計画策定：既設構造物取壊し時の騒音、振動を外部に漏らさない対策を行う。

困難な場合はブレーカ類を使用しない解体工法を選定する。

3. 業務を効率的に進めるための関係者との調整方策

- (ア)関係者：発注者（請負者）、周辺住民、農業用水利用者、周辺施設管理者（利用者）、主要インフラ管理者、占用物件管理者、所管警察署、消防署など
- (イ)連絡窓口の設置とリスクコミュニケーションの実施：工事でのリスクとその対策について、連絡窓口を設けて関係者との双方向のコミュニケーションを実施継続する。
- (ウ)調整内容等：工期および工事内容と区域の説明、交通規制の内容・期間・時間帯、作業内容・作業工程と時間帯の説明、安全対策方法の説明 など
- (エ)特に農業用水の利用者とは、作付けに影響を与える場合には前もって十分な調整を行う。